

理学Nanyangコース

- サイエンスを基本として異文化・異分野の理解に重点をおいた海外学修プログラム
- **学生企画型プログラム** → 総合教養科目・「グローバルチャレンジ実習」として**1単位認定**
- 研修先：**南洋理工大学・理学部**(Nanyang Technological University、College of Science、シンガポール)(2～3週間(8, 9月))
- 対象学生：学部2年生
- 募集人員：2名

1991年に設置されたシンガポールにある国立大学の一つである。新興でありながら、QS世界大学ランキングにおいて2016年は総合13位(アジアでは2位)であり欧米の最上位校に匹敵するエリート校である。大学はエンジニアリング、サイエンス、ヒューマニティ、アート&ソーシャルサイエンス、メディカルの4つの「カレッジ」から構成され、各「カレッジ」の下に日本での学部に対応する「スクール」が属している。サイエンスの下には生物科学、数物科学、アジア環境がある。神戸大学とは2016年に全学大学間協定が締結された。

問合せ先： 鐺木基成 mtsubaki@kobe-u.ac.jp



平成30年度神戸グローバルチャレンジプログラム コース申請書

平成29年9月21日

神戸グローバルチャレンジプログラム委員会委員長 殿

理学部長
鏑木 基成

下記のとおり、神戸グローバルチャレンジプログラムで実施するコースを申請します。

申請部局	理学部	実施責任者	ふくやま かつし 福山 克司		連絡先(内線)	5621			
実施年度	平成 30 年度	連絡先(メールアドレス)	fukuyama@math.kobe-u.ac.jp						
コースの名称	理学グローバルチャレンジNanyang/Sciコース	コース区分※	学生企画型						
コースの略称	理学Nanyangコース		※フィールドワーク型、サマースクール型、学生企画型、インターンシップ型、ボランティア型 から選択						
学生募集	開始年月日(予定)	平成30年4月9日	募集対象学生	所属部局(全学部・自学部・他学部)	他学部特定の場合記入	学年	人数(見込み)		
	終了年月日(予定)	平成30年5月25日		自学部		2	2		
	参加学生決定年月日(予定)	平成30年6月14日							
コース実施期間※	平成30年6月14日 ～ 平成30年9月30日 (109 日間) ※実施期間は30日以上1年以内、事前学修実施期間5日以上、学外学修実施期間10日以上、事後学修実施期間5日以上								
コースの概要	「サイエンスにおける異文化・異分野の理解と文理融合」をテーマとして3つのタイプの海外学修プログラムを提供する。英語研修に重点をおいた海外学修プログラム(①)(期間、3週間)と、サイエンスを基本として異文化・異分野の理解に重点をおいた学生企画型の海外学修プログラム(②)、(③)(期間は任意、14日間以上30日未満)である。③「理学Nanyang」コースでは学内での事前学修を6月～8月上旬に行った後、8月～9月に学外(海外)学修を2～4週間行う。帰国後、事後学修を9月下旬に行う。								
期待される効果・学修目標	理学グローバルチャレンジプログラムで提供する3つのコースにおいては、基本となるサイエンスを学ぶだけでなく、異文化に身を置くことにより、自らの置く専門分野以外のサイエンスをも含めてより総合的に学ぶことによって、サイエンスの理解をさらに深化させる。ある一定期間の異文化での生活や学修体験を通じ、自分自身への理解を深めたり、新たな興味を持つ事柄や、より追求したい学修テーマを自主的に発見する機会とする。③「理学Nanyang」コースは特に数物科学・化学分野での研修に重点をおいたプログラムである。								
事前学修(期間・内容)	実施期間(予定)	平成30年6月14日 ～ 平成30年8月14日 (62 日間)							
	指導日数(3日以上)	10	指導時間数(5h以上)	15	自己学修時間数(見込み/h)	30	内容	アドバイザー教員指導の下、詳細な学修目標・計画を記入したチャレンジシートと企画書を提出する。危機管理オリエンテーションおよびOSSMA講習会に参加し、安全管理について学ぶ。	
学外学修(派遣先・期間・内容)	【チャレンジターム】派遣先・派遣期間(予定)	派遣先(国名)	南洋理工大学・理学部 (シンガポール)						
	内容	平成30年8月15日 ～ 平成30年9月20日 (21 日間)							
		<ul style="list-style-type: none"> ・南洋理工大学・理学部(Nanyang Technological University/College of Sciences)を派遣先とする2年次理学部生(数物科学・化学分野)を対象とする学生企画型の学修プログラムである。 ・派遣を希望する学生は、十分に前もって実施責任者にコンタクトを取る必要がある。派遣を希望する学生は実施責任者を通して、研修希望先の受入可能教員と連絡をとり、企画書(元案)を作成する。 ・応募書類と共に企画書(元案)を提出し、書類及び面接審査の上で派遣の可否が決定される。 ・派遣が決定した学生は、事前学修の期間中において、さらに海外研修先での企画活動案の内容を受入予定教員との間で詰め、チャレンジシートにまとめる。 ・派遣先にて学生ごとに前もって作成した自らの学修計画に基づき、学習プログラムを実践する。学生は派遣期間中はBEEPを利用して、自己の活動内容や学修したことを実習日誌として作成し、事後学修のための資料とする。 							
学修活動日数(10日以上)	14	学修時間/日(見込み)	4	学修時間数=学修活動日数×学修時間/日(見込み/h)※	56	※「派遣先での活動時間」のみとする(「派遣期間中の自己学修時間」は含まない)(35h以上)			
事後学修(期間・内容)	実施期間(予定)	平成30年9月20日 ～ 平成30年9月30日 (10 日間)							
	指導日数(3日以上)	6	指導時間数(5h以上)	10	自己学修時間数(見込み/h)	30	内容	派遣先での学修について、振り返りを行い、リフレクションシートを作成・提出する。全学で実施される「グローバルチャレンジ合同報告会」に向け、プレゼンテーションの準備を行う。	
認定単位数	単位数※(予定)	事前学修時間	15	+学外学修時間	56	+事後学修時間	10	=合計学修時間	81
		1	※「事前学修時間+学外学修時間+事後学修時間=45時間/1単位」が必要						
コース参加学生への費用支援希望(①②のどちらかに○印)	①JASSO奨学金	○	※「①JASSO奨学金(海外留学支援制度(協定派遣))」による奨学金支給を希望するコースは、「(様式2)平成30年度神戸GCP JASSO申請書」を合わせて提出						
	②神戸大学基金								
備考※	※受入機関の事情等により、最少開講人数がある場合は備考欄に記入								